

うちどく おすすめ絵本リスト

2024.3～2025.2

小学校
中学年版

この一年で図書館司書が毎月紹介した
絵本をリストにまとめました。



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、
その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読み年齢によっても
さまざまな感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの
本」として最適です。



現在購入できる版の出版年を掲載しています。
価格は2025年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を得ています。
無断で転載することを禁じます。

2025年3月発行
大洲市立図書館



12月

サーカスのライオン
川村 たかし／文
斎藤 博之／絵
ポプラ社
1972年 ¥1750

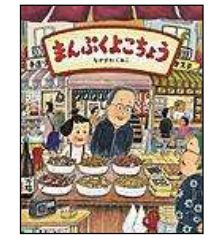
老いたライオンのじんざはサーカスで
淡々と火の輪をくぐっていました。ライオン
好きの男の子と毎日話をするうちに、
じんざに若い頃のような気持ちがよみが
えります。しかしサーカス最終日の前夜に
火事が起こり、男の子を助けるためにじん
ざは火に飛び込んで…。じんざがなぜ
行動できたのかを考えながら読んでみて
ください。



11月

あいたいな
シマエナガ
山本 光一／写真・映像
世界文化ワナダーグループ
2023年 ¥1400

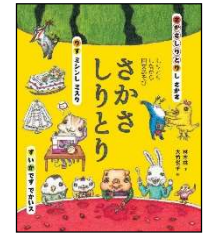
北海道にいる雪の妖精ことシマエナガ。
白くてフワフワの可愛い小鳥です。仲間
同士助け合いながら暮らしていて、いくつ
かの家族が協力して子育てを行うことも。
ヒナが集まった“ひなだんご”もとても
愛らしい！シジュウカラなど他の種類の
鳥たちとも仲良しです。そんなシマエナガ
の日常を、たくさんの写真で紹介していま
す。



1月

まんぷくよこちょう
なかざわ くみこ／作
文溪堂
2020年 ¥1500

今日はまんぷく横丁でおじいちゃん
とお買い物。商店街にはたくさんのお店が
軒を連ねます。お総菜屋さんにお魚屋
さん。なじみのお店でおしゃべりしたり、
試食させてもらったり…。本の中から
おいしい匂いと、にぎわう声が聞こえて
きそう。最後には、ちょっと不思議な体
験もできたい。それは、読んでのお楽し
み。



2月

さかさしりとり
林 木林／作
大竹 悦子／絵
文研出版
2022年 ¥1500

「かにかくかにか」「にんにくろくにん
に」「くまうたうようたうまく」…しりとりを
しながら、回文まで楽しめる遊び「さかさ
しりとり」。ふつうのしりとりよりも難易度
が高いため、自分たちでチャレンジしてみ
るのも楽しそう！回文に合わせた、ストー
リーのあにぎやかなで個性的なイラスト
も魅力で、隔々まで楽しめます。





3月

すしん

たなか ひかる／作
ポプラ社
2023年 ¥1400

すしなのか、乗り物なのか、何なのか…まず勢いがすごい。ページをどんどんめくってしまう。「すっ！」は鳴き声？それとも効果音？読み終えて、少し考えて、もう一回最初から読み返す。それでもよく分からない。何回も読んでいると、すしん達がだんだん可愛く見えてくる不思議。じわじわとクセになるシュールな絵本。



4月

バスが来ましたよ

由美村 嬉々／文
松本 春野／絵
アリス館
2022年 ¥1400

病気で視力を失い、不安な気持ちでバス通勤をする男性。ある朝、「バスが来ましたよ」と小学生の女の子が声をかけて乗車を手伝い、それは卒業するまで続けました。下級生にも自然と受け継がれ、あたたかな声と手の親切なリレーは、男性が定年をむかえるまで10年以上続けました。実話をもとに描かれた優しいお話です。



7月

なんかひとりおおくない?

うめはら まんな／作
BL出版
2023年 ¥1400

夏休み、「ぼく」はきょうだい・いとこたち7人で、じいちゃんちにお泊まりです。かくれんぼやドッジボールをして遊んでいると、なんだかヘン…。銅版画で細かく描かれた表紙や挿絵をじっくり見てみてください。なんと、ひとり多いんです。8人で遊んだ夏休みが楽しかったんだということがよくわかる「ぼく」の行動にほっこり。



8月

ほんやねこ

石川 えりこ／作
講談社
2021年 ¥1600

本屋のねこは早めに店じまいをしてお散歩へ。ところが、窓を一時閉め忘れていたからさあ大変！突然の強い風に、絵本のページはめくりあげられ、中にいた物語の人たちは外へ吹き飛ばされてしまいます。はたして、みんなは無事に戻って来られるでしょうか？本屋の棚には有名な物語がいっぱい。それぞれの物語をきくと読んでみたくなりますよ。



5月

まひるのけっとう

マヌエル・マルソル／作
中川 ひろたか／訳
光村教育図書
2020年 ¥1600

こんな決闘、見たことない！荒野にたつネイティブアメリカンとカウボーイ。真剣勝負の決闘は、たびたび邪魔が入って中断します。パラパラめくると、カットが変わり、まるで映画をみているよう。緊迫したシーンからの、ゆる～いオチに毎回くすくと笑えます。戦争の起こっている今の時代だからこそ、おすすめしたい一冊です。



6月

あなたのなまえを

大塚 健太／文
ももろ／絵
マイクロマガジン社
2023年 ¥1500

あなたにはどんな響きがか合うだろう、どんな名前がいい？おさんぽしながら、いろんな景色の中で、思い出の場所に行ったり、好きなものを思い浮かべたりしながら考えた。生まれてくる子の名前に思いを巡らす日々を描いた、愛にあふれた絵本です。やわらかなイラストと言葉が、子の幸せを願う想いをひきたてます。



9月

ヨシ

リン・コックス／文
リチャード・ジョーンズ／絵
いわじょう よしひと／訳
あすなろ書房
2023年 ¥1500

魚の網にからまっていたところを日本の漁船に救われ、日本語で「ヨシ」と名づけられたアカウミガメ。南アフリカの水族館で飼育され、長距離を泳ぐ練習をして海に還されたヨシは、2年2か月をかけて3万7千キロメートルを泳ぎ、生まれ故郷のオーストラリアの浜辺へ帰った。ウミガメの本能、決意と強さに心をうたれる驚異の実話。



10月

むげんことわざものがたり

大串 ゆうじ／[作]
偕成社
2023年 ¥1500

犬が歩いていると棒にあたり、その棒の上にあった棚！からぼたもちが落ちて…！？ことわざや慣用語が文字通りの絵になり、それがつながって話が進んでいきます。「次はなんだろう？」とページをめくるのが楽しく、最後まで読むとタイトルの「むげん」の理由も分かります。絵本に出てくることわざや慣用語の意味も載っていますよ。